

みやぎの木づくり運動 みやぎ材利用のススメ


＜みやぎ材活用事例集＞ VOL.10



女川町まちなか交流館

女川駅前の交流拠点として設置され、開放感のあるロビーや多人数収容のホール、音楽スタジオや調理室など、多用途に利用できる施設です。

天井や腰壁にスギが使用されるなど、木のぬくもりを活かした施設となっています。

 宮城県

みやぎの木づかい運動

県内各地では、かつて盛んに植えられたスギなどの造林木が伐採の時期を迎えており、住宅資材や合板、製紙原料として利用されています。

一方、私たちの身近なところでも「県産材を使う」ことで、森林の手入れが進み、「水源のかん養」や「自然災害の防止」、「CO₂の吸収・地球温暖化の防止」といった機能が増進して、豊かな環境の形成につながっていきます。

このため宮城県では、市町村や関係団体、企業等と広く連携し、森林・林業・木材の情報提供や、イベント開催を通して県産材の利用を呼びかける「みやぎの木づかい運動」を展開しています。



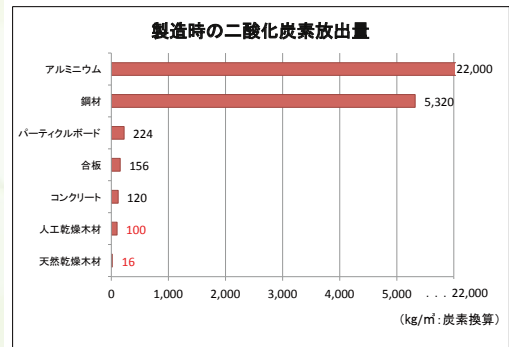
県産材を利用する意義

①地球温暖化防止などの環境保全に貢献できる

樹木は、光合成によって大気中の二酸化炭素を取り込み、炭素として貯蔵しています。

木材を住宅などに使用すると、森林が吸収した二酸化炭素が長期間にわたり固定され、大気中の二酸化炭素の低減に繋がります。

また、木材は鉄やコンクリートなどの資材に比べて製造や加工に要するエネルギーが少ないため、二酸化炭素の排出量を削減することができます。

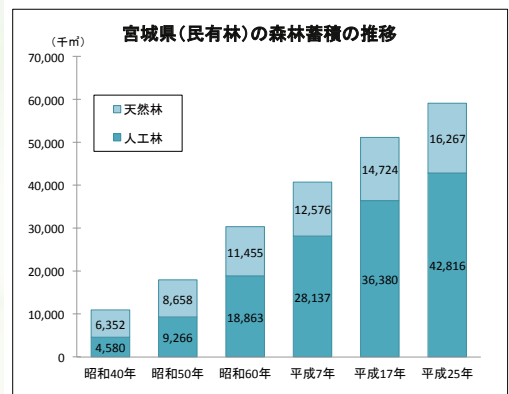


②林業振興や森林整備が促進される

宮城県内の森林蓄積は、昭和40年当時から約5倍に増加しています。また、森林は年間約140万m³成長しています。

一方、木材として利用される量は年間約50万m³前後にとどまっており、多くの森林資源が収穫期を迎えているにもかかわらず、十分に利用されていない状況にあります。

「植える→育てる→使う→植える」という森林整備と木材利用のサイクルを維持することにより、森林の保全・利用、水源のかん養などの公益的な機能が発揮されます。



③健康で快適な環境の空間がえられる

木材は断熱性に優れ、ぬくもりがあります。また、湿度を調節する働きがあり、乾燥のしすぎや高い湿度、結露などを抑えます。



みやぎの木づかい運動シンボルマーク

みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。



～身近なところから県産材を使おう～

県産材の活用事例

○登米市産コナラ天板を活用した学童用机

登米市の登米町森林組合を中心とする産学官連携プロジェクトにおいて、加工が困難とされるコナラ材を使用した新商品として開発され、登米市内の小中学校での導入が予定されています。



○もくもくハウス仙台店（若林区大和町）と国産材・津山杉の角盆「BON」

「BON」は「2014年度グッドデザイン賞」と「ウッドデザイン賞 2015」をそれぞれ受賞しました。



○県産材を活用したオフィス家具の開発

株式会社イトーキは地域材の新規用途開発や利用拡大に取り組んでおり、県産材を活用したパーティション兼用シェルフ「Alberare」は、材料調達から生産まで宮城県内で一貫して行われるオフィス家具として開発されました。



木の香るおもてなし普及促進事業

(みやぎ環境税活用事業)

多くの方が目にする施設に県産材を使用すると、木の良さやぬくもりを体感する機会が増えるほか、二酸化炭素の固定など木の持つ様々な効果について広くPRすることができます。

そのため、宮城県では、店舗・病院・福祉施設など、県民の方々が利用する民間施設の木造化（新築）や内装等の木質化（既設建物の改修を含む）、木製品の導入に当たり、一定以上の県産材を使用する場合、経費の一部を助成しています。

※最新の事業内容等、詳しくは宮城県林業振興課（裏表紙）までお問い合わせください。

補助事業の活用事例

○県産材を活用した民間施設

◆愛の杜めぐみ保育園（名取市）

特 徴 名取市内に新築された認可保育園で、構造材の一部に優良みやぎ材が使用されています。

事 業 者 株式会社たけやま

所 在 地 名取市愛の杜一丁目2-10

構 造 木造平屋建

延床面積 413.22㎡

木材使用量 63.26㎡（うち優良みやぎ材 35.44㎡）

完成年月 平成27年3月



○木質化・木製品の導入

◆学校法人石輝学園 矢本はなぶさ幼稚園（東松島市）

木製ロッカー，収納棚の導入



◆医療法人社団健育会 ナースインホーム ひまわり（石巻市）

木製テーブル，椅子等の導入



みやぎ木のやすらぎ空間確保対策事業

(市町村振興総合補助金)

市町村が実施する公共施設等の木造モデル施工や木製品配備に対し、県が支援を行うものです。木材の優れた特性と各地域で生産されている高品質材を広く効果的にアピールすることで、地域材の需要拡大と関連産業の振興を図ります。

※お問い合わせ先

大河原地方振興事務所林業振興部 (電話 0224-53-3249)

仙台地方振興事務所林業振興部 (電話 022-275-9252)

北部地方振興事務所林業振興部 (電話 0229-91-0719)

北部地方振興事務所栗原地域事務所林業振興部 (電話 0228-22-2381)

東部地方振興事務所林業振興部 (電話 0225-95-1436)

東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部 (電話 0220-22-6125)

気仙沼地方振興事務所農林振興部 (電話 0226-24-2535)

林業振興課みやぎ材流通推進班 (電話 022-211-2912)

補助事業の活用事例

◆仙台市

泉岳自然ふれあい館には、宮城県産のスギを加工した椅子やテーブル、キャビネットなど合わせて684台が配置されました(平成25年度)。



◆登米市

3ページに掲載した登米市産のコナラ学童用机は、平成27年4月に県のグリーン製品に認定され、平成27年度には市内小中学校に1391台が本事業を活用して導入される予定です。



優良みやぎ材



「優良みやぎ材」は、規格や寸法、含水率などの品質を「みやぎ材利用センター」が検査し、合格した宮城県産の木材製品です。宮城県内の森林から合法的に伐採された原木を使用し、県内の認定工場で製材・加工されています。

○優良みやぎ材に関するお問い合わせ先

みやぎ材利用センター本部 <宮城県木材協同組合>

〒981-0908 仙台市青葉区東照宮1丁目8-8

TEL 022-233-2883(代) FAX 022-275-4936

県内における木造公共施設の事例

松島町児童館

- 特 徴 松島町において初めてとなる児童館で、構造材の一部に県産材が使用されています。
- 事 業 者 松島町
- 所 在 地 宮城郡松島町磯崎字浜 1-2
- 構 造 木造平屋建
- 延床面積 399.87㎡
- 木材使用量 68.1㎡(うち県産材 30.1㎡)
- 完成年月 平成27年3月



里山ガーデンハウス

- 特 徴 船岡城址公園の山頂に完成した、トイレや観光客の交流スペースを備えた施設です。
- 事 業 者 柴田町
- 所 在 地 柴田郡柴田町大字船岡字舘山内地内
- 構 造 木造平屋建
- 延床面積 55.06㎡
- 木材使用量 14.6㎡(うち県産材 11.2㎡)
- 完成年月 平成27年3月



木材利用の新たな方向性

～ CLT の開発・普及に向けた取組～

CLT (Cross Laminated Timber, 直交集成板) とは、ひき板を繊維方向が直交するように積層接着した重厚な木質パネルのことです。

CLTのメリットは、断熱・遮音・耐火性や環境性能の高さなどが挙げられます。

また、施工性の速さや、RC造などと比べた場合の軽量性も大きな魅力であり、欧米では様々な中・高層建築物に使われています。

日本においても、2013年12月にJAS（日本農林規格）が制定され、2016年にはCLTパネル工法の一般化が予定されるなど、新たな木材需要を生み出す製品として注目されています。

宮城県内における動き

○「宮城県 CLT 等普及推進協議会」の設立

木造建築に係わる産業の連携を促進し、CLTや県産材等の普及と地域産業の活性化、成長産業化等を目的として、建設・木材産業に関わる業界団体により、平成28年2月2日に「宮城県CLT等普及推進協議会」が設立されました。



○県産CLTの実用化に向けた取組

◆スギCLTによる住宅モデルの試作

石巻市内の株式会社山大・石巻合板工業株式会社・株式会社ミヤウツの3社と石巻地区森林組合が連携して製作し、屋根・壁・床にCLTが用いられています。



◆スギCLT等を使用したモデル施設

一般社団法人宮城県建築士事務所協会により、名取市内に建設されました。





●森林管理認証を受けた森林



●認証材を加工した製材品（丸平木材株式会社）

南三陸森林管理協議会は、平成27年10月、国際的な森林認証を行う団体である森林管理協議会（FSC）によるFM認証を取得しました。

FM認証とは、社会的・生態的・経済的な側面から見て適正に管理されている森林であることを証明する制度で、県内では初の認証となりました。

また、このFM認証と並行し、丸平木材株式会社（南三陸町）では、認証森林から生産された木材の加工・流通に関する認証制度であるCoC認証を取得しました。

この取組により生産された認証材は、東日本大震災からの復興を国際的にPRできる製品として期待されています。

●お問い合わせ先●

宮城県 農林水産部 林業振興課 みやぎ材流通推進班

〒980-8570宮城県仙台市青葉区本町3-8-1

電話：022-211-2912

FAX：022-211-2919

E-mail：rinsinf@pref.miyagi.jp

ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ringyo-sk



この印刷物は大豆油インキを使用し印刷されています。
この「みやぎ材利用のススメ」は、500部作成し1部あたりの単価は135円です。
印刷に伴い排出された温室効果ガスは、宮城県内の森林整備により創出されたJ-VERクレジットによりカーボンオフセットされています。

平成28年3月作成